

公表：令和2年3月25日

事業所名 児童発達支援 放課後等デイサービス 系

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	4	0	1	4部屋を活用している。	学習机を壁側に向けるなど工夫はしているが不足な点がある。
	②	職員の配置数は適切であるか	2	2	1		規定は満たしているがもう少し多くても良い。送迎に工夫が必要。
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	0	2	3		現時点ではバリアフリー化されていない。構造化については今後の課題。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	5	0	0	複数の加湿器など稼働し湿度温度、換気に注意している。	掃除や物の整理など今後も進める。
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	2	1	2	会議の回数を増やしている。	会議の回数をもっと必要。パート職員が時間、曜日が合わず参加していない。内容を深めていく必要あり。
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	5	0	0		保護者の評価表を元に会議を開き問題点を討議している。
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	5	0	0	28年度から評価を行い紙面にて公表、年度末に保護者に配布している。	昨年度からホームページでも公表している。
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	0	0	5		第三者による外部評価はお願いしていない。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	5	0	0	多くの研修会に積極的に参加している。事業所内研修会も積極的に開催している。	自閉スペクトラム症の指導方法を更に勉強する。「おがる」の機関支援を来年度も申し込む予定。
適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	5	0	0	ニーズや課題は整理されているがアセスメントツールが決まっていない。	個別をやりながら出来る事、出来ない事を確認している。
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	1	4	0	検査結果を参考にしているが、独自の物はなく、検討中。	今後、機関支援を受けながら決定していきたい。
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	5	0	0	ガイドライン、その他の参考資料を見ながら計画を立てている。	保護者にガイドラインができたことを伝え必要性を話している。個別支援計画を提示している。ガイドラインの記載欄を作っていない。次回書き換えから表記する。
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	5	0	0	提示終了後職員に声掛けしている	もっと回数多く見てもらえるように工夫が必要。

⑭	活動プログラムの立案をチームで行っているか	5	0	0	活動ごとに個人、又は2人で立案している。	大きな行事はプロジェクトを作って進めている。	
⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	3	2	0	曜日ごとに課題活動主活動を決めている。	曜日固定のやり方は今後も継続していく。主活動の内容は全職員で見直しをしていく。	
⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせさせて児童発達支援計画を作成しているか	5	0	0	個別活動、小集団活動とメリハリをつけている。	個別の時間を増やす。学習を更に進める。	
⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	4	1	0	送迎時間の前に朝礼をしている。グループラインを活用し情報を共有している。	朝の打ち合わせにいない職員にも忘れずに伝える事が出来るようにホワイトボードを活用している。	
⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	4	0	1	送迎後、記録を整理しながら話合っている。	パート職員にも伝え忘れの無いようにしたい。欠席した職員にも伝え忘れないようにする。(職員グループラインも検討中)	
⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	5	0	0	特記事項のコーナーを設けて記入している。	記録用紙を改善した。支援に生かせるように見出しを付けた。	
⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	5	0	0	必要な時は書き換えを行っている。	モニタリングの時期がずれないようにしていきたい。	
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	5	0	0	児発管以外にも参加することがある。	複数の職員が参加出来るように勤務体制を作りたい。
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	5	0	0	必要な子は児発管が連携をとっている。	相談室の利用を今後もアピールしていきたい。
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障がい福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	5	0	0	保護者から詳しい聞き取りを行い、職員で共有している。	訪問をして状態を教えて頂いている。今後は更に進めて行く。
	㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	5	0	0	救急搬送する病院を確認している。救急搬送の手順、担当医など確認している。	全職員が対応できるように会議での確認、徹底をし書面で残すと共にわかりやすい所に置き、常に確認する。
	㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	5	0	0	幼稚園、保育園訪問、懇談会開催などを積極的に行っている。	
	㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	5	0	0	小学校の先生と懇談を持って頂いている。	合同支援会議を積極的に開催していく。
	㉗	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	5	0	0	児童発達支援センター「おがる」の機関支援を受けている。	職員、保護者対象に児童発達支援センターのお力を貸して頂き、研修会開催、メンターさんとの話し合いの場を設定している。(今年度は計画していたのだがコロナ流行のため中止)
	㉘	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	5	0	0	隣接している公園に遊びに来た子ども達との交流はある。	

	⑳ (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども子育て会議等へ積極的に参加しているか	5	0	0	児発管、職員共に積極的に参加している。	
	㉑ 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	5	0	0	連絡帳、メール、電話、ラインを使い共通理解を図っている。	送迎時、一言伝える事を忘れない。
	㉒ 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	5	0	0	ペアレントメンターさんを事業所にお呼びして研修会を開催している。(今年度はコロナの為に実施出来なかった)	サポートファイルさっぽろを活用している。書き方講習会を事業所で開催している。参加できていない保護者もいるので多くの方に参加して頂けるよう工夫していく。
保護者への説明責任等	㉓ 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	5	0	0		
	㉔ 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	5	0	0	モニタリングを丁寧に行い保護者の考えが反映されるように留意している。	児童発達支援ガイドラインの記載をしていない。次回書き換えから書き込み理解して頂く。
	㉕ 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	6	0	0	連絡帳、メール、電話、ラインを使い行っている。	保護者が参加できる研修会を案内している。今後も発信していく。
	㉖ 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	5	0	0	父母会はないが父母参加型行事、運動会、クリスマス会、親子クッキング、など実施している。	年に一度だが、懇親会を開催している。茶話会、参観日を複数回を開催している。
	㉗ 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	5	0	0	主に児発管が対応している。	一緒に考えながら対応している。職員も対応できるように研鑽していく。
	㉘ 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	5	0	0	毎月お便り、行事説明書などを発行している。	土曜日の活動のに関して全員に写真入りのお便りでお知らせしている。ラインを活用し活動の動画を送ることがある。
	㉙ 個人情報の取扱いに十分注意しているか	5	0	0	廃棄する書類に関してはシュレッターを利用している。	今後の課題として写真データ、動画の一括管理の方法を検討する必要がある。
	㉚ 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	4	1	0	スケジュール表の作成や視覚で確認できるように提示をしている。	更に進めて行く事が必要。
	㉛ 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	5	0	0	町内会のお祭りに企画から参加している。ご町内の方が畑を貸して下さっている。	
	非常時等の対応	㉜ 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	5	0	0	全てマニュアルはあるが保護者への周知が徹底していない。
㉝ 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか		5	0	0	毎月実施している。	防災センターの活用を更に進める。
㉞ 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか		5	0	0	保護者から教えて頂き対応している。	救急搬送する際の留意点など保護者に来て頂き全職員で周知した。予防接種については確認出来ていない。

④④	食物アレルギーのある子どもについて、示書に基づく対応がされているか 医師の指示に基づく対応がされているか	5	0	0	保護者から教えて頂き対応している。	職員全員が分かるように張り出しをしている。
④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	5	0	0	作成し、全員回覧したことを記入する欄を設けている。	些細な事でも書面に残し、職員で共有するようにしている。
④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	5	0	0	強度行動障害の研修を複数人受講している。	支援会議、定例会議で具体例を上げて話し合いをしている。講師をお呼びし虐待の事業所内研修会を開催、全員参加している。
④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	0	0	5	現在身体拘束の必要な児童がいない為記載していない。	必要な児童が利用した時に討議をする。

◎ この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。